

天気について調べる

「今日はいい天気ですね」「暑いですね」など、会話の始まりには天気の話が付きもの。今回は身近なテーマでありながら、実は奥深い天気に関する調べ方です。数値情報や過去に遡って調査する方法を紹介します。

データベースの学外利用(VPN)についてはこちらを参照

「データベース利用案内」 <<https://www.kanagawa-u.ac.jp/library/search/database/>>

天気の概要を知る

◆気象庁 <<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>>

気象庁のホームページは、気象についての様々な情報が掲載されています。

今日の天気、各地の天気、地震、津波に関する情報、梅雨入り、桜の開花日など気象に関する情報が満載です。

気温・降水量などの数値データが知りたい

例えば「世界の主要都市の気温と降水量が知りたい」といった場合、以下の資料が便利です。

◆『世界の統計』(毎年発行) 総務省統計局・日本統計協会 <請求記号:横浜 B059-00-2、みなとみらい D059-00-2>

世界主要都市の最高気温、最低気温、年間降水量が掲載されています。

こちらは統計局 Web サイトでも公開されています。 <<https://www.stat.go.jp/data/sekai/index.html>>

※統計データの調べ方はパスファインダー「統計を調べる(国内・政府統計)、(海外政府統計)」

を見てください。 <<https://www.kanagawa-u.ac.jp/library/publication/pathfinder/>>

◆理科年表プレミアム(VPN 可) <https://www.kanagawa-u.ac.jp/library/search/database/list/details_10200.html>

国立天文台が毎年発行している『理科年表』<請求記号:横浜 B403-08>のデータベース版です。『理科年表』よりも更に細かい情報が得られます。気象の他にも暦、天文、物理、地学、生物、環境など理科に関するあらゆるデータをキーワードで探ることができる便利なデータベースです。



海外の気象情報については以下のデータベースも参考になります。

◆Weatherbase <<http://www.weatherbase.com/>>

Canty and Associates LLC が運営する気象データベースです。世界の気象統計データを見ることができます。各月の平均気温と降水量のデータも掲載されています。

◆Climate Data Online <<https://www.ncdc.noaa.gov/cdo-web/>>

(米国)国立環境情報センター(NCEI)が提供しているデータベースです。世界の気象データを期間指定して利用することができます。利用は無料ですが、一部データのダウンロードにはメールアドレスを登録する必要があります。

◆NASA GISS Surface Temperature Analysis GISTEMP <<https://data.giss.nasa.gov/gistemp/>>

アメリカ航空宇宙局(NASA)とゴダード宇宙科学研究所(GISS)が提供しているデータです。海上・陸上等の気温の変化をグラフで表示します。各グラフはダウンロードすることもできます。

日本の過去の天気を知りたい

日本の過去の天気を調べるには以下のサイトも役に立ちます。

◆国立国会図書館のリサーチナビ <<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi>>には様々な事柄についての調査方法が記載されています。キーワードで検索できるので便利です。

日本の過去の天気図 <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/post_646>

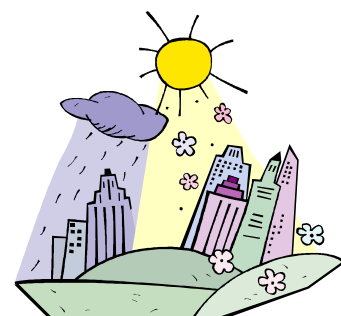
日本の過去の気象データ <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/stm/post_647>

◆気象庁 <<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>>

気象庁のホームページでは地域や年月日を指定して気象データを見ることができます。

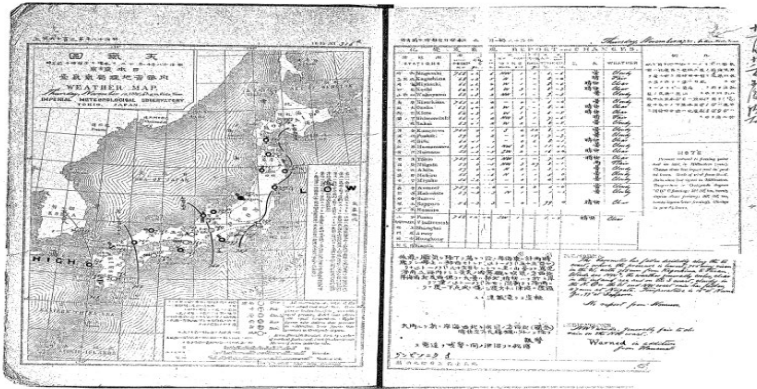
◆歴史天候データベース <<http://tk2-202-10627.vs.sakura.ne.jp/>>

吉村稔・山梨大学名誉教授作成。江戸時代の日記やその他古記録などから読みとった、西暦 1661 年から 1892 年にかけての日本各地の天気を地図上で確認することができます。



◆国立国会図書館デジタルコレクション <<https://dl.ndl.go.jp/>>

国立国会図書館デジタルコレクションは、国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービスです。明治時代の天気図を収録している図書の画像があります。



←国立国会図書館デジタルコレクションより

天気図[東京]:中央気象台
[第1冊]明治18年11月12日至30日
明治時代の天気図を見ることができます。

気象災害について知りたい

自然は多くの恩恵を与えてくれますが、時には災害をもたらすこともあります。人々はこれまで様々な自然の猛威を目の当たりにしてきました。気象災害について調べるためのツールをいくつか紹介します。

◆朝日新聞クロスサーチ (VPN 可) <https://www.kanagawa-u.ac.jp/library/search/database/list/details_23149.html>

朝日新聞のオンライン記事データベースです。過去の出来事を探すなら新聞記事に当たるのが得策。探しているテーマの新聞記事をテーマ、キーワード、日付等から検索して全文を読むことができます。

◆『台風・気象災害全史』宮澤清治・日外アソシエーツ編・日外アソシエーツ、2008 <請求記号:横浜B451-390>

古代から平成19(2007)年までに発生した台風・豪雨雪・竜巻などの気象災害を多角的に調べられます。キーワード、日時の索引が付いています。また巻末にある参考文献も参考にするとよいでしょう。

◆『気象災害の予測と対策』饒村 曜編・オーム社、2002 <請求記号:横浜B451-283>

現在の気象災害の予測と対策がどのように行われているか、過去の経験も含めてわかりやすくまとめられています。

🌤️ 天気あれこれ

■特異日とは？

統計上、「晴れやすい日」、「雨が降りやすい日」があるのをご存知ですか？そんな日を天気の「特異日(とくいび)」と呼びます。

「ある天候が、偶然とは思われないほど高い確率で現れる特定の日。2月7日の春一番、11月3日の秋晴れなど。」

「とくいび【特異日】」, デジタル大辞泉, JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com/lib/display/?lid=2001013232700>

(参照 2025-2-1)

1964年10月10日に東京オリンピックの開会式が行われました。

この日程も特異日を利用して決定したとの記述があります。

(『NHK 気象ハンドブック』改訂版, NHK 放送文化研究所編, NHK 出版, P142 <請求記号:横浜B451-184>)

■天気まつわる諺(天気俚諺 - てんきりげん)

「嵐の前の静けさ」、「雷が鳴るときは大樹に寄るな」など、天気まつわる諺はたくさんあります。

それらは天気俚諺(てんきりげん)と呼ばれます。

「天気や天候・気候について、古来伝承されてきた経験則。内外ともその数は非常に多いが、それらは統計的に検証されたものはたいへん少なく、そこに一部の真理が含まれた経験であるとしても、それは科学的気象学ないし天気予報術の前段にあたる人間の知恵と考えられる。」「天気俚諺」, 日本大百科全書(ニッポニカ), JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com/lib/display/?lid=1001000161573> (参照 2025-2-1)